

令和2年度自己評価結果公表シート

作成 鶴ヶ丘幼稚園

1、本園の教育目標

家庭における親しい人間関係を軸にした生活から、より広い世界に目を向け始め人格を形成していく幼児期に、「家庭に近い環境の中、自由でのびのびした保育」を行い、子どもたちが「安心して活動する」中、家庭では体験できない社会・文化・自然等に触れ、豊かな体験を通して生きる力の基礎を培うことを目標とする。

鶴ヶ丘幼稚園のよい子は

- ・健康でねばり強い子
 - ・なかよく助け合う子
 - ・やる気ありよく考える子
- を目指す。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度末より感染拡大の続く新型コロナウイルス対策に全精力を傾けて取り組む。本年度からの子ども子育て支援新制度への移行及び週5日制への移行をスムーズに行う。また評価項目に沿って園自ら、教師自らの目で客観的に自己評価を行い、園内の防災対策を行った。義務教育及びその後の教育の基礎が培われるよう、保育の質を高めるために常に向上を目指す。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 新型コロナウイルスへの対応	令和2年4月・5月は、緊急事態宣言を受け臨時休園。令和2年6月1日～12日は分散登園。6月15日より通常保育。一学期は7月31日まで臨時延長。
② 子ども・子育て支援新制度への対応	令和2年4月より施設型給付幼稚園に移行した。
③ 週5日制への移行と給食の充実	通常保育を週5日制に移行し、全て一日保育となった(第1・第3土曜日は両保護者共に就労の方対象の預かり保育を実施)。月～木曜日に給食を実施した。
④ 保育環境の充実	園舎の中庭の人工芝を撤去し、ウッドデッキとする工事を行った。
⑤ ICT化の推進	ライン・メールによる保護者連絡網を運用開始した。また、つるようチャンネル(動画配信サービス)を開設し、運用開始した。
⑥ 地域の子育て支援のセンター的役割を担う。	新型コロナウイルス感染拡大の中、昨年度まで実施していたような 地域の子育て中の親子が孤立しないように、常に園を開放することが出来なくなった。発達相談や子育て相談のみ実施した。
⑦ 食育を充実させる	給食時の園内放送では、こどもの興味に合わせて

	クイズを実施し、あらゆる食材が身近に感じられるよう取り組んだ。年長児が二十日大根を種まきより栽培し食への興味がわくように毎日水やりに取り組んだ。
⑧ 幼児教育・保育の質を高めるために園外研修に積極的に参加し、職員間でも学習会を行う。	保育者の専門性を高め、人間性や社会性を培うためにオンライン研修を中心に研修会に進んで参加し、学んだ内容を研修記録にして報告し、園職員全員で共有するようにした。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本年度の重点目標・計画達成のために、職員間でより一層の周知を図り、常に話し合いを重ね、その達成に向けて、全職員が一丸となって取り組むことが出来た。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
新型コロナウイルス対策	新しい生活様式に基づく保育を徹底する。
食育のさらなる充実	令和3年度中に実施した野菜の栽培・調理・食することを新たな食材で挑戦したい。
保育環境の見直し	園舎の経年劣化した箇所の補修。

6、評価項目の自己評価

評価項目	評 価
3-①	新型コロナウイルス感染対策のため、入園式・進級式・親子遠足・バラ園遠足・春の小運動会・人形劇鑑賞・自然史博物館遠足を中止した。また、お泊り保育(年長日帰り滝畑遠足)・秋の遠足・音楽会・凧揚げ・おもちつき・クリスマス会・生活発表会を一部内容変更して実施した。園内の徹底した除菌に努め、登園時の手指のアルコール消毒、健康観察表の実施、保育室内でのソーシャルディスタンスの確保、空気清浄機の設置等、新しい生活様式に基づく保育の実施に努めた。
3-②	検尿が大阪市により実施される等変更があったが、新制度移行はスムーズに行うことが出来た。
3-③	新型コロナウイルスの影響でなくなった5月と6月上旬分の給食を、1学期末までの弁当日を給食に振替して実施した。2学期以降は、週4日給食と1日弁当日を定着させていくことが出来た。
3-④	表面が摩耗して、降雨後湿りがちな人工芝を令和3年3月にウッドデッキにする工事を実施した。築山も設置し、こどもたちの明るい憩いの場とすることが出来た。
3-⑤	保護者への緊急連絡の方法としてホームページを使用して来たが、タイムラグが生じてしまうのと確認されたかどうかの判断が難しい状況にあった。ライン・メールによる保護者連絡網を作り、特に新型コロナウイルス感染対策で緊急の行事変更にも即時連絡することが可能となった。また、つるようチャンネル開設により長期に渡った臨時休園中も、幼稚園で作成した動画を配信することにより、こどもたちや保護者とのつながりを可能な範囲ではあるが保つことが出来た。
3-⑥	新型コロナウイルス感染拡大の中、昨年度までと大きく異なり極めて限定的にしか活動

	出来なかった。
3-⑦	給食の時間の園内放送で旬の野菜や栄養の知識を楽しく学びながら給食を食べた。 クイズや食材の栽培で食への関心が高まった。
3-⑧	大阪府・大阪市・大阪府私立幼稚園連盟・大阪市私立幼稚園連合会・民間業者・各種 団体が主催する主にオンラインとなった幼児教育者向け研修に職員が多数参加した。 また、園内の kpt 研修を行い自己啓発にも努めた。

鶴ヶ丘幼稚園関係者評価表

当園の自己評価を参照しながら、令和3年9月9日に開催された保護者会役員により関係者評価を行って頂いた。

評価項目	
3-①	相違ありません。制限ある中、子供達へ最善を尽くした保育をしていただきました。
3-②	相違ありません。
3-③	相違ありません。
3-④	相違ありません。園の間取りを活かし、屋外での憩いの場はコロナ対策にも有効だと思います。
3-⑤	相違ありません。ラインによる連絡は、則確認でき、過去の内容にもさかのぼれるので大変便利です。
3-⑥	相違ありません。在園児・職員の安全のため致し方ないと思います。
3-⑦	相違ありません。黙食中でも放送のおかげで楽しく食事できると思います。
3-⑧	相違ありません。
その他	問題ございません。コロナ禍、最大のご尽力を頂きありがとうございます。

以上